

第4回 みえ県民1万人アンケート 調査票

所要時間は15分程度です。

ご回答は専用ウェブサイトか、この調査票(郵送)のいずれかからお願いします。
それぞれの回答方法は、下記を参照ください。

回答締切日:令和8年2月16日(月)

専用ウェブサイトでご回答いただく場合

※パソコンのほか、スマートフォンやタブレットでも可能です。

※インターネットでご回答いただいた方は調査票の返送は不要です。

[1] URL を直接ご入力、または二次元コードからアクセス

<https://questant.jp/q/mie2025>



[2] ログイン画面が表示されましたら、以下に記載の ID を入力してください。

あなたの ID : ***** ※ 0 は数字のゼロです

パスワード :

IDは調査票からの回答とウェブサイトからの回答の重複を防ぐものであり、
回答者様個人を特定するものではありません。

[3] アンケート画面が表示されますので、ご回答ください。

調査票(郵送)でご回答いただく場合

[1] 調査票に記入



- ◆回答は順番に、番号に○をつけるか、回答欄に数字等を記入してください。
- ◆ご記入は、ボールペン又は鉛筆で、はっきりとわかりやすくお願いします。
- ◆アンケートは、次ページの問1からご回答ください。

[2] 同封の返信用封筒へ



◆記入を終えられましたら、
同封の返信用封筒(切手不要)に
調査票を入れ、郵便ポストに投かんしてください。

[3] ポストへ投かん



はじめに、生活の満足度についておききします

問 1 あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。

「非常に満足している」を 10 点、「全く満足していない」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。（数字を1つだけ○）

非常に満足している ←————→ 全く満足していない										
10 点	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0 点

問 2 次の①から⑭までの項目それぞれについて、あなたの満足度を、「5」（満足）～「1」（不満）（わからない方やあてはまらない方は「0」）の中から選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

	5 満足	4 どちらか ええ満足	3 ふつう	2 どちらか ええ不満	1 不満	0 あてはまらない・ わからない
① 家計と資産	5	4	3	2	1	0
② あなた自身の給料や報酬・賃金	5	4	3	2	1	0
③ 仕事のやりがいや生活とのバランス	5	4	3	2	1	0
④ 健康状態	5	4	3	2	1	0
⑤ 医療サービス	5	4	3	2	1	0
⑥ 介護・福祉サービスの利用しやすさ	5	4	3	2	1	0
⑦ 子育てのしやすさ	5	4	3	2	1	0
⑧ 子どもの教育	5	4	3	2	1	0
⑨ 交友関係やコミュニティなど 社会とのつながり	5	4	3	2	1	0
⑩ 身のまわりの自然環境	5	4	3	2	1	0
⑪ 自然災害への備え	5	4	3	2	1	0
⑫ 交通安全・防犯など身のまわりの安全	5	4	3	2	1	0
⑬ 文化・スポーツなどの趣味、生きがい	5	4	3	2	1	0
⑭ 移動手段、交通の便利さ	5	4	3	2	1	0

次に、県が注力している取組に関することについておききします

【結婚について】

問3 あなたは、これまでに結婚をしたことはありますか。（○は1つだけ）

- 1 未婚（結婚したことはない）
- 2 既婚・配偶者あり（現在、夫または妻がいる） ⇒ 問4へ
- 3 既婚・死別または離別
（結婚したことはあるが、死別または離別した） ⇒ 問4へ

問3-2 問3で「1」を選んだ方（これまで結婚したことがない方）におききします。
今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、
次のうちどちらですか。（○は1つだけ）

- 1 いずれ結婚するつもり
- 2 結婚するつもりはない ⇒ 問3-5へ

問3-3 問3-2で「1」を選んだ方におききします。
現在、結婚していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- 1 結婚するのはまだ早い ⇒ 問4へ
- 2 出会いの機会がない
- 3 理想の相手に出会えていない
- 4 収入が少ない ⇒ 問4へ
- 5 自分に自信が持てない ⇒ 問4へ
- 6 自由な生活を失いたくない ⇒ 問4へ
- 7 仕事が不安定 ⇒ 問4へ
- 8 金銭的に不自由になる ⇒ 問4へ
- 9 キャリアアップの障害になる ⇒ 問4へ
- 10 結婚に希望やいいイメージを感じない ⇒ 問4へ
- 11 その他（ ） ⇒ 問4へ

問3-4 問3-3で「2」「3」を選んだ方におききします。ご自身がお相手を探すために
していること、もしくはしようとしていることはありますか。（○はいくつでも）

- 1 知人等に紹介を依頼
- 2 ネット系婚活サービス（マッチングアプリ、恋活・婚活サイト）の利用
- 3 結婚相談所の利用
- 4 SNS やインターネットで興味のあるコミュニティに参加
- 5 婚活パーティ・イベントに参加
- 6 お見合い
- 7 趣味や習い事でのお相手探し
- 8 合コンに参加
- 9 特に何もしていない、する予定はない
- 10 その他（ ）

問3-5 問3-2で「2」を選んだ方におききします。

「結婚するつもりはない」と考える理由は何ですか。（○はいくつでも）

- 1 年齢的に難しいと感じる
- 2 結婚したいと思える人に巡り合えそうにない
- 3 苗字・姓が変わるのが嫌・面倒
- 4 結婚という形式にこだわる必要性を感じない
- 5 自由でいたい
- 6 ほかのことより優先してまで結婚・恋愛をしたくない
- 7 結婚生活を送る経済力がない・仕事が不安定
- 8 仕事を優先したい・キャリアを中断したくない
- 9 誰かと一緒に生きていきたいと思わない
- 10 婚活・恋愛で辛い経験があり、もうしたくないと思う
- 11 その他（ ）

【子ども・子育て支援について】

問4 あなたは、子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子ども的人数をお答えください。

（○は1つだけ。「1」に○をつけた方は（ ）に人数も記入してください）

- 1 （ ）人くらいほしい（ほしかった）
- 2 ほしくない（ほしくなかった）
- 3 わからない

問4-2 お子さんはいらっしゃいますか。結婚や就職など既に独立しているか否か、同居しているか否かにかかわらず、記入してください。

（○は1つだけ。「1」に○をつけた方は（ ）に人数も記入してください）

- 1 子どもが（ ）人いる
- 2 子どもはいない ⇒ 問4-4へ

問4-3 問4-2で「1」を選んだ方におききします。同居されているお子さんの内、一番下の方の年齢あるいは学齢をお答えください。（○は1つだけ）
（例：三兄弟の三男が家を出て、長男と次男のみ同居している場合は、次男の状況をお答えください。）

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1 3歳以下 | 6 大学生（院生）・専門学生・短大生・予備校生 |
| 2 4歳以上で小学校入学前 | 7 社会人 |
| 3 小学生 | 8 同居している子どもはいない |
| 4 中学生 | 9 その他（ ） |
| 5 高校生・高専生 | |

問4-4 これまでの県の調査では、実際の子どもの数は理想の子どもの数より少ないという傾向がでています。この理由として、あてはまると思うものに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1 子育てや教育にお金がかかりすぎている
- 2 仕事と子育てを両立できる職場環境ではない
- 3 子どもを育てる環境（保育所、学校など）が整っていない
- 4 ほしいけれども子どもに恵まれない
- 5 高年齢で産むのは嫌・難しい
- 6 パートナーの家事・育児への協力が得られない
- 7 育児の心理的、肉体的負担に耐えられない
- 8 自分や夫婦の時間を大切にしたい
- 9 地域社会において子育てへの理解が薄い
- 10 健康上の理由
- 11 パートナーが望まない
- 12 その他（ ）

問5 あなたは仕事と子育てを両立する上で何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

- 1 保育所等の預け先の定員の拡大
- 2 保育所等の柔軟な利用制度（時間延長、土日保育、長期休暇中の学童など）
- 3 保育所等の利用に係る負担軽減（通園グッズの軽減、長期休暇中の配食など）
- 4 短時間勤務やテレワークなど柔軟な働き方
- 5 育児休業や突発的な休暇を取得しやすい職場の雰囲気
- 6 パートナーの家事・育児への協力
- 7 家事代行サービスの利用に対する支援
- 8 両立を実現するための自身のライフデザイン形成に対する支援
- 9 地域での支え合いの場の充実（子ども食堂、交流会など）
- 10 気軽に相談できる場の充実
- 11 その他（ ）

【人材確保について】

問6 三重県で働く方を増やすために、あなたは、「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思いますか。（○は3つまで）

- 1 自然豊かな落ち着いた環境で生活できる
- 2 名古屋・大阪など都市圏へのアクセスが良い
- 3 農林水産業、工業、観光業など多様な産業があり選択肢が多い
- 4 ワークライフバランスが図りやすい
- 5 人が温かい
- 6 働きながら子育てがしやすい
- 7 生活費を抑えられる
- 8 通勤の負担が少ない
- 9 特にない
- 10 その他（ ）

【人口減少対策について】

問7 これまでのことについてお聞きします。あなたが実際に人口減少・少子高齢化を実感した場面はどのような場面ですか。（○は3つまで）

- 1 近所の学校が廃校になったとき
- 2 外で子どもの声を聞かなくなったと感じたとき
- 3 商店街にシャッターが下りたまの店舗が増えたとき
- 4 近所の百貨店やスーパーマーケットがなくなったとき
- 5 バスや鉄道の本数が減った、路線自体がなくなったとき
- 6 管理されない道路や公園等の公共施設が増えたとき
- 7 医療施設、福祉施設が減少した（なくなった）とき
- 8 空き家をよく見かけるようになったとき
- 9 転出者の噂を聞くようになったとき
- 10 地域に活気がなくなったと感じたとき
- 11 その他（ ）
- 12 人口減少を実感したことがない

問8 これからのことについてお聞きします。人口減少・少子高齢化が進行することで懸念することはどのようなことですか。（○は3つまで）

- 1 人手不足などによって、行政サービスの水準が低下する
- 2 地域公共交通（路線バス、鉄道等）の撤退・縮小が進む
- 3 生活関連サービス（小売・飲食）の縮小が進む
- 4 医療サービスの縮小が進む
- 5 空き家、空き店舗、工場跡地、耕作放棄地等が増加する
- 6 住民組織（自治会、消防団、地域の祭り等）の担い手が不足し、地域コミュニティの機能が低下する
- 7 その他（ ）
- 8 懸念していることはない

【文化振興について】

問9 県は今後どのような文化振興施策に力を入れるべきだと思いますか。（○はいくつでも）

- 1 魅力ある展覧会や公演、講座等の開催
- 2 子どもたちが文化・芸術や伝統文化にふれる機会の充実
- 3 地域の伝統的な文化が継承され、親しまれるようにすること
- 4 文化・芸術を担う人材の育成支援
- 5 年齢や障がいにかかわらず文化・芸術に関する活動を行える環境の整備
- 6 文化資源の鑑賞等を通じて文化への理解を深める文化観光の推進
- 7 多様な主体（県民、企業、文化団体、学校、行政など）との連携の推進
- 8 文化・芸術を活用した地域の活性化や地域の課題解決
- 9 文化財の適切な保存・継承および地域における活用
- 10 県内外の文化施設どうしとの連携による県立文化施設の魅力向上
- 11 文化・芸術に関する情報発信の強化
- 12 自宅で文化施設を楽しめる動画等、デジタル技術の活用の推進
- 13 その他（ ）
- 14 わからない

問 9-2 文化は、観光やまちづくりなど様々な分野と連携することで、新たな価値が生まれ文化の発展につながることを期待されています。あなたは、文化・芸術をどのような分野に生かしたら良いと思いますか。（○はいくつでも）

- | | |
|---------|-----------------|
| 1 観光 | 6 まちづくり（地域の活性化） |
| 2 教育 | 7 スポーツ・健康増進 |
| 3 経済・産業 | 8 国際交流 |
| 4 福祉 | 9 その他（ ） |
| 5 子育て | 10 わからない |

【観光について】

問 10 あなたは、県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思いますか。（○は3つまで）

- | |
|-----------------------------|
| 1 イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上 |
| 2 経済活性化や働く場の増加 |
| 3 施設や道路などのインフラ整備 |
| 4 文化資源や自然資源の保存・継承 |
| 5 騒音やゴミの増加による生活環境の悪化 |
| 6 道路の渋滞、バスやタクシーの混雑 |
| 7 自然や景観が損なわれる |
| 8 観光地化による物価上昇 |
| 9 とくに効果や影響はない |
| 10 その他（ ） |

【ジェンダーギャップの解消について】

問 11 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。（○は1つだけ）

- | |
|--------------------------------|
| 1 同感する（＝「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成） |
| 2 どちらかといえば同感する |
| 3 どちらかといえば同感しない |
| 4 同感しない（＝「男は仕事、女は家庭」という考え方に反対） |
| 5 わからない |

【共生社会について】

問12 あなたは、日本人と外国人が互いの文化的差異を認め合い、地域で共に生きていく共生社会についてどう思いますか。（○は1つだけ）

- 1 望ましいと思う
- 2 どちらかといえば望ましいと思う
- 3 どちらかといえば望ましいと思わない
- 4 望ましいと思わない
- 5 わからない

【デジタルの活用について】

問13 あなたは、納税や住民票の取得などの行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはありますか。

(○は1つだけ)

- | | | |
|---|-----------------------------------|---------|
| 1 | デジタルサービスを利用したことがある | ⇒問 4へ |
| 2 | 行政手続をする機会はあったが、デジタルサービスは利用したことはない | |
| 3 | そもそも行政手続を利用する機会がなかった | ⇒問 4へ |
| 4 | わからない | ⇒問 4へ |

問13-2 問13で「2」を選んだ方におききます。
その主な理由は何ですか。(○は1つだけ)

- 1 スマートフォンやパソコンを持っていない
- 2 手続きがデジタル化していることを知らなかった
- 3 必要な手続きがデジタル化していない
- 4 利用方法がわからない、操作が難しい
- 5 対面による手続きがよいと思う
- 6 その他（ ）

【災害について】

問 | 4 三重県では南海トラフ地震や内陸直下型地震が発生した際の地震被害想定調査の結果を公表していますが、お住まいの地域における震度予測や津波浸水予測などの被害想定を知っていますか。(〇は1つだけ)

- 1 具体的に知っている
- 2 ある程度は知っている
- 3 知らない

問 15 南海トラフ地震について三重県で大きな被害*が想定されています。災害から身を守るためにどのような防災対策を行っていますか。(〇はいくつでも)

1 3日以上の飲料水・食料の確保	9 断水に備え、風呂に常に水を入れている
2 懐中電灯や携帯ラジオ等を入れた非常持ち出し袋を準備している	10 転倒の危険性がある家具を固定または置かないようにしている
3 懐中電灯の電池や携帯電話等の予備電源の確保	11 本棚や食器棚等から物が飛び出ないようにしている
4 自家用車の燃料を常に半分以上確保	12 家屋の耐震対策または耐震基準の確認
5 携帯トイレの準備	13 自然災害に対応した保険に加入
6 マスク等の感染症対策物品の確保	14 災害時、家族間の連絡方法や集合場所を決めている
7 寝室にスリッパを置いている	15 特に対策をとっていない
8 消火器を常備	

*令和7年3月に公表された国の被害想定で、最大津波高26m、死者2.9万人。

さいごに、ご自身の現在のことについておききします

三重県全体の分析のためには、お一人おひとりについて、以下の情報が欠かせません。
無記名式であり、集計した結果のみを使用しますので、個人の情報が特定されることは一切ありません。ぜひご協力ください。

問17 あなたの性別と年齢、三重県に住んでいる期間について教えてください。

【性別】

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他

【年齢】

満 歳

【三重県に住んでいる期間】（一度三重県から離れた期間がある場合は、その期間を除いた通算年数をご回答ください。）

年以内

問18 あなたの世帯構成はどれにあたりますか。（○は1つだけ）

- 1 単身世帯（ひとり暮らしなど）
- 2 一世代世帯（夫婦のみなど）
- 3 二世代世帯（親と子など）
- 4 三世代世帯（親と子と孫など）
- 5 その他（）

問19 あなたの主な職業は何ですか。（○は1つだけ）

- 1 農林水産業（家族従事者も含みます）
- 2 自営業、自由業（家族従事者も含みます）
- 3 企業、役所、団体などの正規の社員・職員
- 4 パート、アルバイト、派遣社員など
- 5 その他、収入のある仕事
- 6 学生（アルバイトなどをしている方も含みます）
- 7 専業主婦、専業主夫
- 8 無職

問20 あなたは配偶者の方と共働きをしていますか。（○は1つだけ）

- 1 はい
- 2 いいえ

問 2 1 あなたの世帯全体の年間収入（税込み）はどのくらいですか。
（○は1つだけ）

1 100 万円未満	6 500 万円～600 万円未満
2 100 万円～200 万円未満	7 600 万円～800 万円未満
3 200 万円～300 万円未満	8 800 万円～1,000 万円未満
4 300 万円～400 万円未満	9 1,000 万円以上
5 400 万円～500 万円未満	10 わからない

問 2 2 あなたのお住まいの市町はどちらですか。

「1」～「29」のお住まいの市町に○をつけてください。（○は1つだけ）

北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域
1.桑名市 2.いなべ市 3.四日市市 4.鈴鹿市 5.亀山市 6.木曽岬町 7.東員町 8.菰野町 9.朝日町 10.川越町	11.伊賀市 12.名張市	13.津市 14.松阪市 15.多気町 16.明和町 17.大台町	18.伊勢市 19.鳥羽市 20.志摩市 21.玉城町 22.度会町 23.大紀町 24.南伊勢町	25.尾鷲市 26.熊野市 27.紀北町 28.御浜町 29.紀宝町

今後、三重県に特に力を入れてほしい取組*や、本アンケート調査に対するご感想、ご意見などありましたらご自由にお書きください。

*県の取組については、同封の依頼状裏面の『「みえ元気プラン」の主な取組』も参考にしてください。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

記入を終えられましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に調査票を入れ、令和8年2月16日（月）（消印有効）までに郵便ポストに投かんしてください。

また、ご回答いただいた方の中から、**抽選で250名に1,000円分のAmazonギフト券（eギフトカード）**を進呈させていただきます。

抽選をご希望の方は、商品発送用のメールアドレスを下記にご記入ください。

メールアドレス

※メールアドレスは商品発送にのみ使用し、回答者様個人と回答内容を特定するものではありません。